

大阪ガスグループは、創業から100年以上に亘り、近畿圏における都市ガスの安定供給というガス事業者としての使命を果たしながら、周辺分野への果敢な挑戦を通じ、多様な事業基盤を築き上げてきました。

アニュアルレポート2014の巻頭特集では、将来も持続的に企業価値を高めるべく、成長を加速させる大阪ガスグループの姿をご紹介します。

数字で見る大阪ガスグループ



ガス販売量(連結ベース)

85.5 億m³

(2014年3月期)



連結経常利益

1,060 億円

利益構成比 ガス事業: 約30%
ガス事業以外: 約70%

(2014年3月期)

OUR POTENTIAL



保有電源規模

約 **300** 万kW

(2014年5月末)



LNG調達

約 **800** 万トン

(2014年3月期)

ガス販売量 (連結ベース)

85.5 億m³

(2014年3月期)

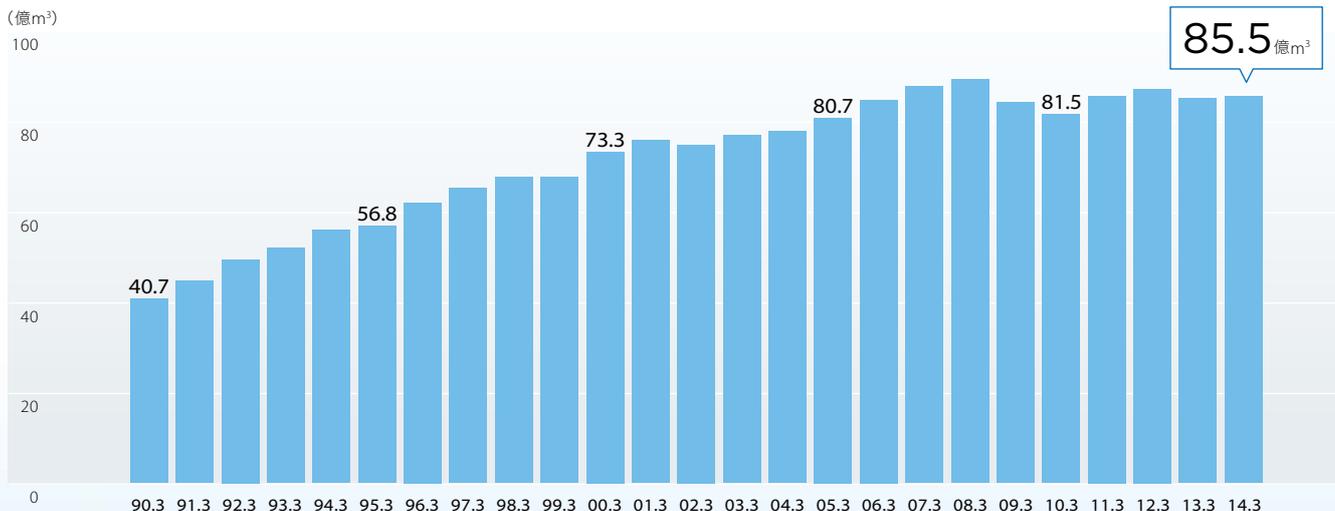
国内ガス事業の持続的な成長を実現

大阪ガスグループは国内屈指の事業規模を誇るガス事業者として、近畿圏において都市ガス販売量を飛躍的に拡大してきました。現在では710万戸を超えるお客さまに都市ガスを供給し、多様化するお客さまのニーズにお応えしています。

導管総延長 (連結ベース) 約 **61,300** km

お客さま数 (連結ベース) 約 **716** 万戸

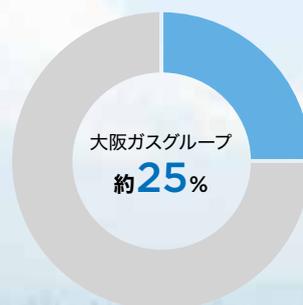
大阪ガスグループの国内ガス販売量の推移



大阪ガスグループの国内ガス販売量シェア (2014年3月期)

2014年3月期のガス販売量は、国内の全都市ガス販売量の約25%を占めています。

国内ガス販売量シェア(2014年3月期)



連結経常利益

1,060

億円

利益構成比 ガス事業:約30%/ガス事業以外:約70%

(2014年3月期)

果敢に事業領域を拡大

都市ガス事業を通じて培ったノウハウや技術を活用し、大阪ガスグループはガス事業以外の分野にも積極的に事業展開を行っています。

国内エネルギー事業

都市ガス供給に留まらず、エネルギーに関連するビジネスへ事業領域を拡大



1905 ▶ 創業 / ガスの供給開始



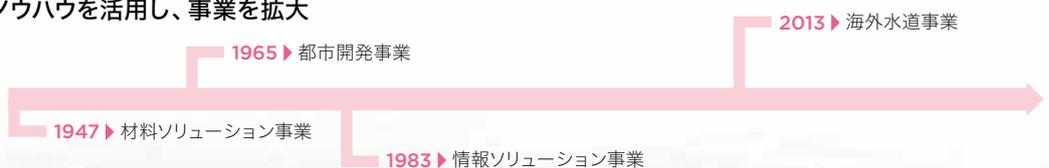
海外エネルギー事業

LNG調達によって培ったノウハウなどを活用し、海外ビジネスを展開



ライフ&ビジネス ソリューション事業

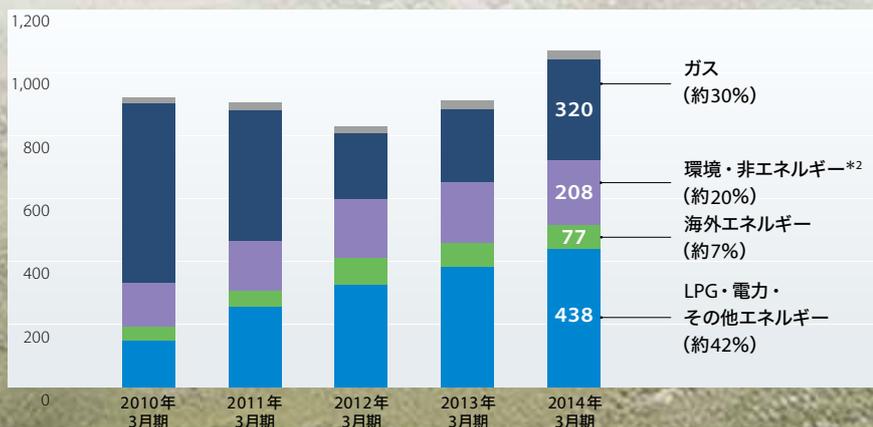
ガス事業で培った技術力・ノウハウを活用し、事業を拡大



セグメント利益*1の推移

現在ではガス事業以外の利益規模はグループ全体の利益の50%を超えるまで成長し、利益の安定化に寄与しています。

(億円)



()はセグメント別利益構成比を示しています。

*1 セグメント利益=営業利益+持分法による投資損益

*2 セグメント内容を見直し、2015年3月期より「ライフ&ビジネスソリューション」に名称変更しています。

OUR POTENTIAL

さらなる成長に向けた投資

新たな投資により、国内エネルギー事業、海外エネルギー事業、ライフ&ビジネス ソリューション事業を成長させ、さらに強固な事業ポートフォリオの形成を目指します。

2010年3月期以降の主要な投資案件

- 国内エネルギー事業
- 海外エネルギー事業
- ライフ&ビジネス ソリューション事業

2015年頃
生産開始予定
オーストラリア ゴーゴン・プロジェクト
参画



2016年頃
稼働予定
名古屋における石炭火力発電所建設
参画



2017年頃
生産開始予定
オーストラリア イクシス・
プロジェクト参画



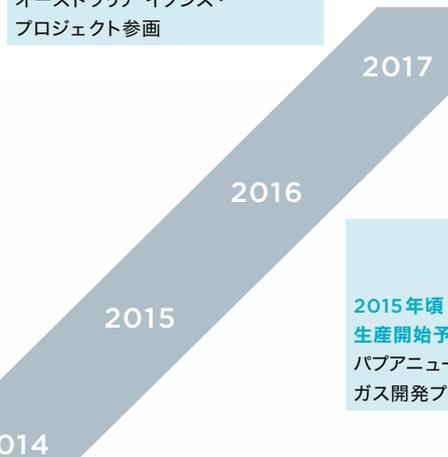
2018年頃
稼働開始予定
アメリカフリーポートLNG
プロジェクトへの参画(予定)
提供: Freeport LNG Development, LP.



2014年1月
タイにおけるエネルギーサービス
事業参画



2014年1月
スウェーデン 活性炭事業会社
(Jacobi Carbons AB)の買収

2015年頃
生産開始予定
パプアニューギニア コンデンセート・
ガス開発プロジェクト参画



2013年10月
英国水道事業参画



2013年2月
稼働開始
カナダにおけるオーロラ太陽光発電
事業参画



2013年8月
シンガポールにおける産業用
天然ガス販売事業参画



2012年10月稼働開始
アラブ首長国連邦シュワイハットS2
発電・造水事業参画



2012年10月
風力発電所の買収(佐賀県・山口県)



2011年6月
稼働開始
オーストラリア ハレット4
風力発電事業参画



2009年4月
泉北天然ガス発電所
営業運転開始



2010年5月
スペイン サгентLNG基地事業参画



保有電源規模

約 300 万kW

OUR POTENTIAL

(2014年5月末)

電力事業を積極的に強化

大阪ガスグループは国内外を問わず、天然ガス発電を中心に電力事業を積極的に推進しています。

現在、泉北天然ガス発電所(約110万kW)を主力とし、国内に約180万kWの電源を保有しています。また、海外でもIPP事業などへの参画を進めており、持分ベースで約105万kWの電源を保有しています。

今後も全国で電源の開発を進め、2020年代には国内外での保有電源規模を600万kWまで拡大する計画です。

保有電源規模の推移と目標



LNG 調達量

約 800 万トン

OUR POTENTIAL

(2014年3月期)

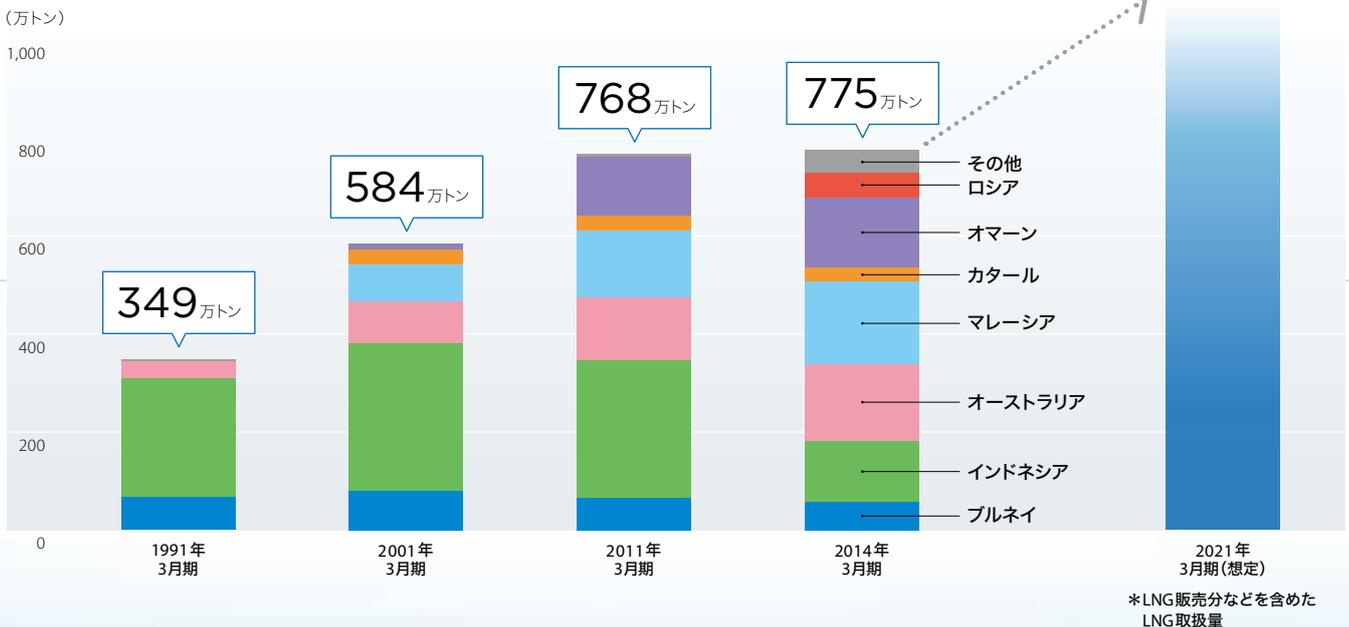
調達先の多様化を推進

大阪ガスグループは1972年のLNG輸入開始以降、LNG需要は拡大し、現在では調達量が約800万トンまで拡大しています。

都市ガスを安定的に供給するため、7カ国の生産者と長期契約を締結し、調達先の多様化を進めています。

今後はパプアニューギニアやオーストラリアの新しいプロジェクトからの調達を予定しているほか、将来的には新たな天然資源であるシェールガスの調達にも取り組みます。2021年3月期にはLNG取扱量は約1,100万トンにまで増加する見通しです。

LNG 調達量の推移



今後も世界的にLNG需要が高まることが予想される中で、引き続き安定的かつ低廉なLNG調達に取り組んでいきます。

